

岩木川ダム 統管だより

064号
2022年
(令和4年)
8月30日



浅瀬石川ダム・津軽ダム

2022森と湖に親しむ旬間

浅瀬石川ダム ダム湖ふれあいデー・
にしめやランド2022併催イベント



優良業務・優良工事4団体を表彰
事故防止対策委員会総会

浅瀬石川ダム・津軽ダム完成後既往最大のダム効果を発揮
今月の昔っこ



2022森と湖に親しむ旬間



津軽ダム にしめやランド2022 併催イベント

～津軽ダムパーク イベント来訪者数 2日間で約2,300人!!～

令和4年7月23日(土)24日(日)、津軽ダム立地村の西目屋村で“にしめやランド2022”が、道の駅『津軽白神』をメイン会場として実施されました。

岩木川ダム統管理事務所では【森と湖に親しむ旬間】併催イベントとして、津軽ダムパークを会場に〈ダム見学会〉・〈ダム効果模型実験〉・〈ライトアップ&ミニプロジェクションマッピング〉などを実施しました。また、道の駅「津軽白神」に設置したダム見学受付ブースでは、約100匹の津軽ダム産カブトムシの譲渡を実施し、多数の譲渡希望者で3時間ほどのうちに譲渡は終了しました。

ダム見学会は、各回とも盛況で2日間のべ105名の方にご参加いただきました。2日間ともに多くの親子連れなどが津軽ダムパークを訪れ、遊具コーナーやダム天端を走る“ハッピートレイン”などを楽しんでいました。



にしめやランド2022チラシ



津軽ダム生まれのカブトムシ、大事に育ててね!



シャトルバスでダムパークへ来場、ダムパークは賑わいを見せました



一番人気のイーグルスライダー! 子供達の歓声が響きます



ダム天端を電車が通ります



ダム効果模型実験をする親子。ダムがある場合と無い場合では?



ダム見学、急な階段を一段一段ゆっくり。貴重な体験です!



夏はやっぱりかき氷! とっても美味しそう



ベッカー君も大活躍。みんなをお迎えました

浅瀬石川ダム ダム湖ふれあいデー

～3年ぶり開催 イベント来場者数 約900人!!～

令和4年7月31日(日)、浅瀬石川ダム立地市の黒石市にある虹の湖公園ふれあいの広場を会場に“浅瀬石川ダム『ダム湖ふれあいデー』”が開催されました。浅瀬石川ダム「ダム湖ふれあいデー」実行委員会の主催で行われたこのイベントは、昨年一昨年は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止しており、今年は3年ぶりの開催です。

蒸し暑い天候の中、来場者は「よさこい演舞」や、東雲幼稚園、黒石高校チアリーディング部によるパフォーマンス、りんご娘LIVEなどのステージショーの他、楽しく浅瀬石川ダムを知ることが出来る

(次ページへ続く)



ダム湖ふれあいデーチラシ

『浅瀬石川ダムO×クイズ』など多彩なイベントを楽しんでいました。

また実行委員会構成団体による“縁日コーナー”、“水の飲み比べ”や“工作コーナー”などの体験コーナーは多くの家族連れなどで賑わいをみせていました。

イベント開催日は、地元の祭り「黒石ねぶたまつり」の会期中ということもあり、例年より時間を短縮して9時から14時での実施となりましたが、約900名の来場があり(令和元年度9時から16時の実施で来場者約1300人)、浅瀬石川ダムの認知度の高さや地元人気をうかがい知ることができました。



ふれあいの広場入口から漂うイベントの楽しい雰囲気



各ブースがずらりと並んでいます



縁日コーナーにはたくさんの子供達



切ったりくっつけたり、木で出来たかっこいい昆虫作り!



人気のカヌー巡視体験。ここだけ空気がゆったり〜♪



新生りんご娘LIVE!! 会場が一体感に包まれました



ダム効果模型実験。雨を降らせてダムの有り無しを比べます



チアリーディングで会場みんなに笑顔のお裾分け



森と湖に親しむ旬間とは?

国土交通省及び林野庁では、昭和62年度から、国民の皆さんに森林や湖に親しむことにより、心身をリフレッシュしながら、森林やダム等のもっている自然豊かな空間や社会生活にはたしている役割について理解を深めていただくことを目的として、毎年7月21日から7月31日までを「森と湖に親しむ旬間」として定めています。

共通シンボルマーク この旬間には、本趣旨に沿って全国の管理ダムを中心とした各種行事が行われています。

優良業務・優良工事の4団体を表彰

事故防止対策委員会総会を開催

岩木川ダム統管管理事務所は令和4年7月26日(火)、令和3年度の業務・工事の中で、成績が優秀で卓越した技術力や創意工夫があったもの、困難な条件を克服したもの等を選定し、優良業務施行会社、優良工事施工会社として事務所長表彰を行いました。



受賞者は下記の通り(敬称略)。

【優良業務】

応用地質(株)東北事務所〈津軽ダム貯水池地すべり観測等業務〉管理技術者 仙石昭栄

津軽ダムフォローアップ検討業務水源地環境センター・日本工営設計共同体〈津軽ダムフォローアップ検討業務〉管理技術者 瀧澤靖明

八千代エンジニアリング(株)北日本支店〈岩木川ダム統管湖水温変動調査検討業務〉管理技術者 鈴木伴征

【優良工事】

(株)桜庭建設〈浅瀬石川ダム維持工事〉監理技術者兼現場代理人 佐藤憲直

令和4年7月26日(火)西目屋村中央公民館において、岩木川ダム統管管理所管内での工事・業務に従事する技術者ら22名が一堂に会し事故防止対策委員会総会が行われました。本総会は、工事等の施工に伴う事故の未然防止と従事者の安全衛生環境の向上、工事などの円滑な進捗に資することを目的として毎年開催されています。

主催者挨拶に続いて、弘前労働基準監督署の加藤秀樹署長から労働災害の発生状況や、令和3年度の建設現場指導状況等に関する講話が行われ、参加者達は真剣に耳を傾けていました。

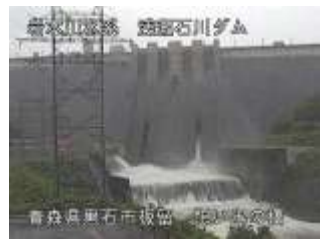


▲【加藤秀樹署長による講話の様子】

浅瀬石川ダム 津軽ダム 完成後既往最大のダム効果を発揮

浅瀬石川ダム

- 8月3日、前線に伴う降雨により、ダム流域平均雨量累計160mmを記録するとともに、ダムへの流入量が**635m³/s (既往最大流入量)**を記録した。(平成25年9月出水のダムへの流入量は450m³/s)
- 今回の出水において、浅瀬石川ダムの洪水調節により、下流河川の朝日橋水位観測所の**水位を約3.43m低減**させることができたものと推測。

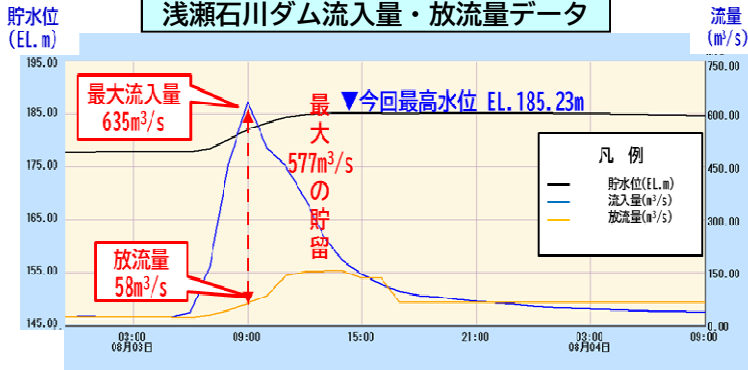


津軽ダム

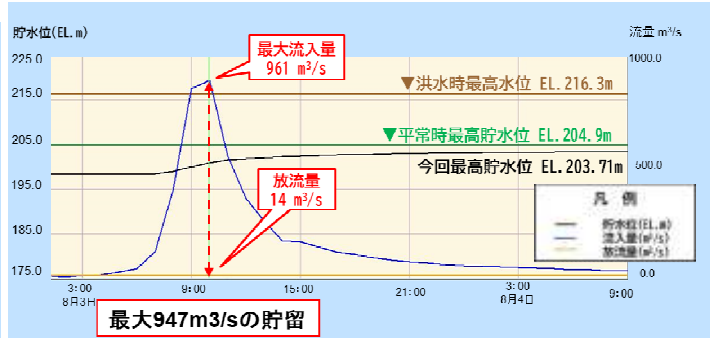
- 8月3日、前線に伴う降雨により、ダム流域平均雨量累計210mmを記録するとともに、ダムの流入量が**961m³/s (既往最大流入量)**を記録した。(平成25年9月出水の目屋ダムの流入量は660m³/s)
- 今回の出水において、津軽ダムの洪水調節により、下流河川の上岩木橋水位観測所の**水位を約2.46m低減**させることができたものと推測。



浅瀬石川ダム流入量・放流量データ



津軽ダム流入量・放流量データ



今月の昔っこ(昔話)

岩木川ダム統管管理事務所のホームページでは、毎月1話津軽地方に伝わる昔話を標準語・津軽弁の2パターン作成、公開しています。事務所職員が描いた温かみのあるイラストとともに地域に伝わるお話をお楽しみください。

第6作目となる8月のお話は『3人の息子』です。

長男は正直だが頭が悪い。次男は頭が良く数字に強い。三男はすばしっこく賢い。跡継ぎに悩んだ父親は息子たちに5年の期限付きで、とある命をくだす。



編集後記



コロナ対策を工夫して、今年は各地で夏祭りが開催されていました。当事務所でも森と湖に親しむ旬間イベントを3年ぶりに実施し、ホッとしたのもつかの間。前線による記録的な大雨、また大雨。今年の夏は、何かちょっと違ってつらい感じです。ばたばたと日が過ぎていきます。

今年は8月7日が立秋でした。暦のうえではもう秋。残暑があっても朝晩は涼しい風が立ち、お盆が過ぎると日暮れも早いです。夏の終わりは、いつも寂しいもので、お盆には寂しさやら悲しみを焚いて、会えない人達を想います。

9月は長月とも申します。長月の由来は諸説ありますが、秋の夜長に如何によく過ごすか考えてみます。(工藤)

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035
FAX 0172-85-3061



岩木川ダム統管管理事務所
ホームページアドレス
<https://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>
公式Twitter @mlit_iwakito